

■第50章

1) ポピュラー音楽の楽節

- 1-1) 「intro」 (イントロ/introduction)
- 1-2) 「theme」 (テーマ/主題)
- 1-3) 「verse」 (バース)
- 1-4) 「inter」 (間奏/interlude/インターラード)
- 1-5) 「bridge」 (ブリッジ)
- 1-6) 「vamp」 (バンプ)
- 1-7) 「ending」 (エンディング)
- 1-8) 「A」・「B」 (Aメロ・Bメロ)
- 1-9) 「chorus」 (コーラス)

2) ポピュラー音楽の楽式

1) ポピュラー音楽の楽節

クラシック音楽同様、ポピュラー音楽も様々な楽式で構成されています。それぞれの楽節には「イントロ」や「コーラス」などの名前が付けられ、それは先に見た「リハーサル・マーク」として使う事ができます。(第5章p11) ここでは、それぞれの楽節が持つ役割とポピュラー音楽の楽式について見てみましょう。

1-1) 「intro」 (イントロ/introduction)

楽曲の「冒頭部分」や「テーマ」に入る前の部分を「イントロ」(intro/前奏)と言います。聴き手は「イントロ」によって曲の「第一印象」や全体の「イメージ」が決まる事から、楽曲へ強い興味を持たせる為の重要なパートと言えるでしょう。また、演奏者に「曲の調や速度」を提示する効果もあります。

イントロは「テーマ」や「エンディング」「コード進行」などの「楽曲の一部」や、ギターのリフやドラムなどの「リズム」を断片的に使う事があります。また「ハーモニーの模倣」や、「メロディーの模倣」によって作る事もできます。「introduction」には「序論」「序説」「前置き」の意味があり、音楽的には「序奏」や「前奏曲」を表わします。